



大杖 正彦 議員

買い物弱者対策の推進を

町長

直ちに対策する状況にはない

〔大杖〕県内では免許返納などで、生活の足に不便を感じる人が増加中、と新聞が報じている。高齢者や独居世帯の実態はどうか。

〔町長〕本町は買い物弱者の割合が高い段階に位置付けられているが、デマンドバスやタクシー・助成制度などで移動手段を確保している。生協の注文販売、イオンや町内スーパーの商品配送、介護サービスもあり、直ちに対策する状況にはない。

〔大杖〕買い物弱者対策として、見守り活動



住民の共助による移動手段

をする自主組織など行政が連携して、環境整備に取り組まないか。

〔町長〕本町における公共交通機関は、最低限度の生活を支えるインフラと考えている。これを超える部分は共助による移動手段や買い物支援に期待する。

〔大杖〕車の相乗りアプリ「CREW」を自主組織に広げる考えは。

〔町長〕観光分野の一部エリアに限り、民間事業者に影響を与えず、相乗効果が生まれるようであれば活用していきたい。

1月臨時会 (1月20日)

町長及び副町長の給与減額条例、大山スポーツ公園指定管理、一般会計補正予算など4議案を可決した。

質疑

給与減額条例制定

〔野口俊議員〕慰霊祭で着用する礼服は、備品でなく消耗品ということか。3カ月でなく、1年間減額の考えはないか。

また、副町長にも責任を負わせるのが適切か。

〔町長〕消耗品予算の中からの執行である。内部協議を重ねた。すべての責任は私にあるが、事務方の責任は副町長にある。

〔野口俊議員〕これまで備品だと言っていて、消耗品と言うのは、町民を愚弄している。他市町村では購入していないが、反省はないのか。

〔町長〕ご意見をふまえ、今後適切な事務執行を行っていききたい。

指定管理者の指定

〔西尾議員〕現在の業者は、実績がしっかりしていない。新しい業者も育てる必要があると思うか。

〔副町長〕新しい業者による新しい風も必要と思うが、次点の業者は、施設をどう運営していくのかに、明確に答えられなかった。

〔米本議員〕次点の業者の提案の方が、収支・内容とも、良く見えるが。

〔副町長〕結果的に大山にプラスになる必要がある。次点の業者は、宿泊について難しいと言いつきもなかった。



乗客のいない路線バス

一般会計補正予算
 〔門脇議員〕バス路線の県補助金は減るのか。
 〔企画課長〕広域バスの県補助金は、乗車率2人未満だと減になる。
 〔野口昌議員〕公共交通対策費5400万円ほどの路線か。
 〔企画課長〕広域バス路線5路線中4路線が乗車率2人未満。また、県補助金の減額対象ではないが、生活路線3路線は、すべて1人未満。